

設置計画の概要

事項	記入欄
設置手続きの種類	事前伺い
計画の区分	学部設置
フリガナ設置者	コクリツガクカクシヨウ ヤマガチガク 国立大学法人 山口大学
フリガナ大学の名称	ヤマガチガク 山口大学 (Yamaguchi University)
新設学部等において養成する人材像	<p>①養成する人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 豊かな人間性と正しい倫理観を持ち、行動規範に従い獣医師の職務を遂行し、国際社会に貢献できる。 2) 獣医学を基礎とした動物生命科学研究を実践するための探究心と問題解決能力を備えている。 3) 動物感染症とその脅威を理解し、制圧のための基礎知識と技術を習得している。 4) 高度な動物医療を適切に実践する知識と技術を習得している。 5) 畜産資源の安定供給と安全性確保に関する基礎知識と技術を習得している。 <p>②習得させる能力、知識、技術</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命倫理と獣医倫理 2) 動物体の構造と生理機能、生体に作用する化学物質と作用機構 3) 病気による動物体の変化、病原体の構造と病原性、感染症の予防と制圧に関する知識と技術 4) 伴侶動物の病気とその予防・診断・治療の知識と技術 5) 産業動物の病気とその予防、診断と治療、生産性向上と食の安全についての知識と技術 <p>③卒業後の進路</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学院進学、企業等（製薬、安全性試験、食品など）での研究者 2) 家畜防疫員等の公務員獣医師（国家公務員、地方公務員） 3) 伴侶動物の高度獣医療に従事する獣医師（動物園、水族館、伴侶動物病院等） 4) 産業動物を対象とした獣医療に従事する獣医師（共済組合、農・牧場）
既設学部等において養成する人材像	<p>①養成する人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 獣医療の進歩に貢献しようとする意欲を持つ人 2) 新たな課題に自ら積極的に取り組み、解決する意欲を持つ人 3) 生命現象に興味を持ち、それを探究しようとする意欲を持つ人 4) 国際的な問題に関心を持ち、取り組む意欲を持つ人 <p>②習得させる能力、知識、技術</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生物の形態と機能 2) 人と動物が関係する疾患の原因と予防法 3) 人の健康保持、家畜の生産の向上 4) 動物の病気の予防法・診断技術・治療法についての知識及び技術 <p>③卒業後の進路</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学院進学、企業等（製薬、安全性試験、食品など）での研究者 2) 家畜防疫員等の公務員獣医師（国家公務員、地方公務員） 3) 伴侶動物の高度獣医療に従事する獣医師（動物園、水族館、伴侶動物病院等） 4) 産業動物を対象とした獣医療に従事する獣医師（共済組合、農・牧場）
新設学部等において取得可能な資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医師国家試験受験資格 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位を取得し、卒業すると受験資格取得可能 ・ 臨床検査技師受験資格 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位を取得し、卒業すると受験資格取得可能 ・ 家畜人工授精師 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、獣医師国家試験を受験・合格し、獣医師免許を取得すると資格取得可能 ・ 食品衛生管理者 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業により資格取得可能 ・ 食品衛生監視員 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、資格に関連する職務についての場合に資格取得可能 ・ 環境衛生監視員 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、資格に関連する職務についての場合に資格取得可能

既設学部等において取得可能な資格		<ul style="list-style-type: none"> ・ 獣医師国家試験受験資格 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位を取得し、卒業すると受験資格取得可能 ・ 臨床検査技師受験資格 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 受験資格取得可能 ③ 卒業要件単位を取得し、卒業すると受験資格取得可能 ・ 家畜人工授精師 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、獣医師国家試験を受験・合格し、獣医師免許を取得すると資格取得可能 ・ 食品衛生管理者 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業により資格取得可能 ・ 食品衛生監視員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、資格に関連する職務についての場合に資格取得可能 ・ 環境衛生監視員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業後、資格に関連する職務についての場合に資格取得可能 ・ 教員職員免許（高等学校教諭1種（農業）） <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格 ② 受験資格取得可能 ③ 指定された科目の履修が必要 									
		新設学部等の概要		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員
共同獣医学部	獣医学科	6	30	-	180	学士（獣医学）	獣医学関係	異動元	助教以上		うち教授
								平成24年4月	農学部獣医学科 新規採用	29 3	14 0
									計	32	14
既設学部等の概要（現在の状況）		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
農学部	獣医学科（廃止）	6	30	-	180	学士（獣医学）	獣医学関係		異動先	助教以上	うち教授
								昭和24年5月	共同獣医学部獣医学科	29	14
									計	29	14
【備考欄】 ※共同獣医学部獣医学科は、本学及び鹿児島大学による共同教育課程である。											

教育課程等の概要(共同学科等)(事前伺い)

(山口大学共同獣医学部獣医学科)

(鹿児島大学共同獣医学部獣医学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	漢文	1後	山口大学		2		○								兼1	
	文化人類学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	日本文学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	哲学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	日本史	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	西洋史	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	宗教学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	東洋史	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	政治学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	発達心理学	1後	山口大学		2		○								兼1	
	心理学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	社会学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	経済学	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	意思決定と業績評価	1後	山口大学		2		○								兼1	
	唐代の文学	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	文化人類学の世界	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	『源氏物語』を読む	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	読み書き能力の教育哲学	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	大学の日本史	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	西洋史入門	1前	鹿児島大学		2		○								兼2	オムニバス
	「生き方」としての宗教論	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	東アジア社会史	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	ウォッチング現代政治	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	発達臨床心理学	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	心理学	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	社会学の世界	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	国際経済学入門	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	現代企業経営論	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
小計(28科目)	—			0	56	0	—			0	0	0	0	0	兼29	
一般教養教育科目(自然科学系)	火山と地震	1前	山口大学		2		○								兼1	
	科学の中の動物	1前	山口大学		2		○			2	1		2		兼1	オムニバス
	数学I	1後	山口大学		2		○								兼1	
	現代化学総説	1前・後	山口大学		2		○								兼1	
	生命を科学する	1後	山口大学		2		○								兼1	
	現代物理学総説	1前	山口大学		2		○								兼1	
	暮らしの中の動物	1後	山口大学		2		○			4					兼1	オムニバス
	環境学	1後	山口大学		2		○								兼1	
	生命科学概論	1前・後	山口大学		2		○			2					兼1	オムニバス
	環境と植物	1前	山口大学		2		○								兼1	
	宇宙と人間	1後	山口大学		2		○								兼1	
	環境とバイオテクノロジー	1前	山口大学		2		○								兼1	
	人間とバイオテクノロジー	1後	山口大学		2		○								兼1	
	地震と火山	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	口と顔の科学	1後	鹿児島大学		2		○								兼15	オムニバス
	教養微積分学	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	化学	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	生物とリズム	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	生活の中の物理	1前	鹿児島大学		2		○								兼1	
	動物の病気	1前	鹿児島大学		2		○			3	11		1		兼1	オムニバス
	生命科学	1後	鹿児島大学		2		○								兼10	オムニバス
	植物学入門	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	地域環境エネルギー論	1前	鹿児島大学		2		○								兼3	オムニバス
	森林科学	1後	鹿児島大学		2		○								兼1	
	宇宙科学	1前	鹿児島大学		2		○								兼2	
	暮らしの中のバイオ	1前	鹿児島大学		2		○								兼10	オムニバス
小計(26科目)	—			0	52	0	—			11	12	0	3	0	兼57	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	一般教養教育科目(総合教養系)	1前・後	山口大学		2		○									兼1	オムニバス
	キャリアデザイン	1後	山口大学		2		○									兼1	
	国際交流論	1前	山口大学		2		○									兼1	
	ベンチャービジネス論	1前	山口大学		2		○									兼1	
	ボランティアと自主活動	1後	山口大学		2		○									兼1	
	職業人と実践倫理	1前	鹿児島大学		2		○									兼9	
	キャリアデザイン	1後	鹿児島大学		2		○									兼1	
	ボランティア論	1前・後	鹿児島大学		2		○									兼2	
	グローバル社会を生きる	1後	鹿児島大学		2		○									兼1	
	国際異文化交流 I	1前	鹿児島大学		2		○									兼1	
小計(10科目)	—			0	20	0	—			0	0	0	0	0	0	兼18	
体育・健康科目	運動健康科学	1後	山口大学	1			○									兼1	*各大学で開講される2科目を履修
	スポーツ運動実習	1前・後	山口大学	1	*				○							兼1	
	体育・健康科学理論B	1前	鹿児島大学	1			○									兼1	
	体育・健康科学実習 I	1前	鹿児島大学	1					○							兼1	
小計(4科目)	—			4	0	0	—			0	0	0	0	0	0	兼4	
初期教育科目	生命倫理学	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1			○									兼1	集中
	コミュニケーション論	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1			○									兼1	集中
	情報セキュリティ・モラル	1前	山口大学	1			○									兼1	鹿大メディア
	情報リテラシー演習	1前	山口大学/ 鹿児島大学	1			○				1					兼1	※演習
	小計(4科目)	—			4	0	0	—			1	0	0	0	0	0	兼4
外国語科目	英語 I	1通	山口大学/ 鹿児島大学	4			○									兼5	
	英語 II	2通	山口大学/ 鹿児島大学	4			○									兼3	
	小計(2科目)	—			8	0	0	—			0	0	0	0	0	0	兼8
基礎教育科目	基礎生物学	1前	山口大学	2			○				1					兼1	鹿大メディア
	基礎化学	1前	山口大学	2			○									兼1	鹿大メディア
	分子生物学	1後	鹿児島大学	2			○				2	1				兼1	山大メディア オムニバス
	生物統計学	1後	鹿児島大学	2			○					4				兼1	山大メディア オムニバス
	生物学実験	1後	山口大学/ 鹿児島大学	2					○		7	8		1		兼1	オムニバス
	小計(5科目)	—			10	0	0	—			10	11	0	1	0	0	兼1
専門教育科目	齊一教育科目(導入科目)	1前	山口大学	1			○				4	2				兼1	集中 オムニバス
	獣医学概論A	1前	鹿児島大学	1			○				3	2				兼2	集中 オムニバス
	獣医学概論B	1前	鹿児島大学	1			○				3	2				兼2	集中 オムニバス
	獣医キャリア形成論	3後	山口大学/ 鹿児島大学	2			○				2					兼26	オムニバス
	獣医倫理学	5前	山口大学/ 鹿児島大学	1			○									兼1	集中
	獣医法規	5後	鹿児島大学	2			○									兼2	集中 山大メディア オムニバス
	小計(5科目)	—			7	0	0	—			7	4	0	0	0	0	兼31
齊一教育科目(基礎獣医系科目)	獣医解剖学A	2前	鹿児島大学	1			○				1					兼1	山大メディア
	獣医解剖学B	2前	山口大学	1			○				1					兼1	鹿大メディア
	獣医解剖学C	2後	鹿児島大学	1			○				1					兼1	山大メディア
	獣医解剖学D	2後	山口大学	1			○				1					兼1	鹿大メディア
	獣医組織学A	2前	山口大学	1			○					1				兼1	鹿大メディア
	獣医組織学B	2前	鹿児島大学	1			○				1					兼1	山大メディア
	獣医組織学C	2後	山口大学	1			○					1				兼1	鹿大メディア
	獣医組織学D	2後	鹿児島大学	1			○				1					兼1	山大メディア
	獣医生理学A	2前	山口大学	2			○				1	1				兼1	鹿大メディア オムニバス
	獣医生理学B	2後	鹿児島大学	2			○				1	2				兼1	山大メディア オムニバス
生化学 I	2前	山口大学	2			○				1						兼1	鹿大メディア
	2後	鹿児島大学	2			○				1	1					兼1	山大メディア オムニバス

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門 教育 科目	動物遺伝学	2後	山口大学	2			○									兼1	鹿大メディア	
	動物行動学	2後	鹿児島大学	2			○			1	1						山大メディア	
	獣医発生学	3前	山口大学	2			○				1						オムニバス	
	獣医薬理学A	3前	山口大学	1			○			1							鹿大メディア	
	獣医薬理学B	3前	山口大学	1			○			1							鹿大メディア	
	獣医薬理学C	3後	鹿児島大学	1			○			1	1						山大メディア	
	獣医薬理学D	3後	鹿児島大学	1			○			1	1					兼1	山大メディア	
	免疫学Ⅰ	2後	鹿児島大学	1			○				1						オムニバス	
	免疫学Ⅱ	2後	山口大学	1			○			1							山大メディア	
	実験動物学A	3前	鹿児島大学	1			○				1						鹿大メディア	
	実験動物学B	3前	山口大学	1			○										兼2	山大メディア
	獣医解剖学実習A	2前	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	1		1				兼1	オムニバス
	獣医解剖学実習B	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	1		1					鹿大メディア
	獣医組織学実習A	2前	山口大学	1					○	2	1		1					一部メディア
	獣医組織学実習B	2後	鹿児島大学	1					○	2	1		1					両大オムニバス
	獣医生理学実習	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	2							一部メディア
	生化学実習	2後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	1							両大オムニバス
	獣医薬理学実習	3後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	2							一部メディア
	実験動物学実習	3前	山口大学/ 鹿児島大学	1					○		1						兼4	両大オムニバス
	小計 (31科目)		—		38	0	0	—			9	10	0	1	0	兼7		
齊一 教育 科目 (応用 獣医系 科目)	獣医微生物学Ⅰ	2後	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			2	2							
	獣医微生物学ⅡA	3前	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			2	2							
	獣医微生物学ⅡB	3後	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			2	1							
	獣医病理学A	3前	山口大学	2			○			1								鹿大メディア
	獣医病理学B	3前	鹿児島大学	2			○			1								山大メディア
	獣医病理学C	3後	鹿児島大学	2			○				1							山大メディア
	獣医病理学D	3後	山口大学	2			○			1								鹿大メディア
	家禽疾病学	5前	鹿児島大学	2			○			1								山大集中
	魚病学	4前	鹿児島大学	2			○										兼1	山大メディア
	毒性学A	4前	山口大学	1			○			1								鹿大メディア
	毒性学B	4前	鹿児島大学	1			○			1	1							兼2
	動物衛生学	4前	山口大学	2			○			1								オムニバス
	動物感染症学A	4後	鹿児島大学	2			○			1	1							鹿大メディア
	動物感染症学B	5前	山口大学	2			○				1							山大メディア
	寄生虫学Ⅰ	3前	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			1	1							オムニバス
	寄生虫学Ⅱ	3後	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			1	1							鹿大メディア
	獣医公衆衛生学	4前	山口大学/ 鹿児島大学	1			○			1	1							兼1
	食品衛生学	4後	山口大学/ 鹿児島大学	2			○				1							オムニバス
	環境衛生学	4前	山口大学/ 鹿児島大学	2			○			1	1							鹿大メディア
	人獣共通感染症学Ⅰ	4前	山口大学	1			○			1	2							兼1
	人獣共通感染症学Ⅱ	4前	鹿児島大学	1			○			1								鹿大メディア
	獣医疫学	4後	鹿児島大学	1			○			1								オムニバス
	獣医微生物学実習A	3前	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	2	3							山大メディア
獣医微生物学実習B	3後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○	1	3							兼1	
獣医病理学実習Ⅰ	3後	山口大学/ 鹿児島大学	1					○		1		1					山大一部メディア	
獣医病理学実習Ⅱ	4前	山口大学	1					○				1					両大オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	齊一教育科目(応用獣医系科目)															
	寄生虫学実習	3後	山口大学／ 鹿児島大学	1					○	1	1					
	獣医公衆衛生学実習Ⅰ	4後	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		2					
	獣医公衆衛生学実習Ⅱ	5前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		2				兼1	鹿大オムニバス
	毒性学実習	4前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○	2	2					一部メディア
	動物衛生学実習	4前	山口大学	1					○	1						両大オムニバス
	動物感染症総合実習	5前	山口大学	1					○	2	2				兼1	鹿大集中 集中 オムニバス
小計(32科目)	—	—	—	48	0	0	—	—	11	10	0	1	0	兼5		
齊一教育科目(臨床獣医系科目)	獣医臨床栄養学	2前	山口大学	1					○		1					鹿大メディア
	臨床獣医学総論	3後	鹿児島大学	1					○		1	1				山大メディア
	獣医放射線学	3後	山口大学	1					○		1					オムニバス
	獣医臨床病理学Ⅰ	4前	鹿児島大学	1					○		1					鹿大メディア
	獣医臨床病理学Ⅱ	4前	山口大学	1					○			1				山大メディア
	獣医麻酔学	4前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		1	3		1		オムニバス
	獣医手術学	4前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		3	3				オムニバス
	獣医画像診断学Ⅰ	4前	鹿児島大学	1					○		1	1				山大メディア
	獣医画像診断学Ⅱ	4前	山口大学	1					○		2	2		2		オムニバス 鹿大メディア オムニバス
	獣医繁殖学	4後	山口大学／ 鹿児島大学	2					○		2	1				鹿大オムニバス
	獣医皮膚病学	4後	山口大学	1					○		1			1		鹿大メディア オムニバス
	獣医消化器病学A	4後	鹿児島大学	1					○			1				山大メディア
	獣医消化器病学B	4後	山口大学	1					○		2	2		2		鹿大メディア オムニバス
	獣医腎泌尿器病学	4後	鹿児島大学	1					○		1	1				一部メディア 両大オムニバス
	獣医内分泌・代謝病学	4後	鹿児島大学	1					○		2	1				山大メディア オムニバス
	獣医臨床感染症学	4後	鹿児島大学	1					○		1			1		一部メディア 両大オムニバス
	獣医呼吸器・循環器病学	4前	鹿児島大学	2					○			1			兼1	山大メディア オムニバス
	獣医神経・感覚器病学	5前	山口大学	2					○		1	2				鹿大メディア オムニバス
	臨床動物行動学	5前	鹿児島大学	1					○						兼1	集中 山大メディア
	獣医血液病学	5前	山口大学	1					○		1			1		鹿大メディア オムニバス
	獣医運動器病学	5前	鹿児島大学	1					○			2				一部メディア 両大オムニバス
	獣医臨床腫瘍学	5前	山口大学	1					○		1	2				一部メディア 両大オムニバス
	野生動物医学	5前	鹿児島大学	1					○			1			兼1	山大メディア オムニバス
	牛診療学Ⅰ	4後	鹿児島大学	1					○			1				山大メディア
	牛診療学Ⅱ	5前	鹿児島大学	1					○			1				山大メディア
	牛診療学Ⅲ	5前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		2	1				鹿大オムニバス
	馬診療学	5前	鹿児島大学	1					○		1					山大メディア
	豚診療学	5前	鹿児島大学	1					○		1					山大メディア
	獣医子防管理学	4後	山口大学	2					○			1				鹿大メディア
	獣医臨床基礎実習	4前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		9	6		2		オムニバス
	伴侶動物診断治療学実習A	4後	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		6	5		1		オムニバス
	伴侶動物診断治療学実習B	5前	山口大学／ 鹿児島大学	1					○		4	6				一部メディア 両大オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	齊一教育科目(臨床獣医系科目)	伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ	4後	山口大学/鹿児島大学	1					○	2	3					山大オムニバス
		伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ	5前	山口大学/鹿児島大学	1					○	2	3					山大オムニバス
		産業動物診断治療学実習Ⅰ	4後	山口大学/鹿児島大学	1					○	2	3		1			一部メディア
		産業動物診断治療学実習Ⅱ	5前	鹿児島大学	1					○	2	1					両大オムニバス 集中
		獣医繁殖学実習	5前	山口大学/鹿児島大学	1					○	1	1					オムニバス 山大一部メディア
		伴侶動物総合臨床実習	5後	山口大学/鹿児島大学	2					○	8	8		2			集中
		産業動物総合臨床実習	5後	山口大学/鹿児島大学	1					○	4	3		1			兼5 集中
		小計(39科目)	—		44	0	0			—	12	12	0	3	0		兼8
専修教育科目	専攻演習	4~5通	山口大学/鹿児島大学	4					○	28	26		5				
	卒業論文	5~6通	山口大学/鹿児島大学	6					○	28	26		1				
	動物生命科学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学		2				○	8	7		1				
	病態制御学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学		2				○	9	8		1				
	伴侶動物臨床獣医学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学		2				○	7	8		2				
	産業動物臨床獣医学特別実験	6前	山口大学/鹿児島大学		2				○	5	3		1				
	動物生命科学特別講義A	6前	山口大学	1			○			4	4					鹿大メディア	
	動物生命科学特別講義B	6前	鹿児島大学	1			○			4	3		1			兼1 オムニバス	
	病態制御学特別講義A	6前	山口大学	1			○			5	3					山大メディア	
	病態制御学特別講義B	6前	鹿児島大学	1			○			3	5					オムニバス	
	伴侶動物臨床獣医学特別講義A	6後	山口大学	1			○			4	3		1			山大メディア	
	伴侶動物臨床獣医学特別講義B	6後	鹿児島大学	1			○			3	4					兼3 オムニバス	
	産業動物臨床獣医学特別講義A	6後	山口大学	1			○			2	1					鹿大メディア	
	産業動物臨床獣医学特別講義B	6後	鹿児島大学	1			○			3	2					オムニバス	
小計(14科目)	—		10	16	0			—	28	26	0	5	0		兼4		
自由科目	共通教育科目(指定科目以外)																
	他学部専門教育科目 他大学等単位互換科目																
小計(0科目)	—		0	0	0			—	0	0	0	0	0				
合計(200科目)				—		173	144	0		—	28	26	0	5	0	兼163	
学位又は称号		学士(獣医学)		学位又は学科の分野			獣医学関係										
(注)																	
<ul style="list-style-type: none"> 「開設大学」欄の「山口大学/鹿児島大学」は、授業科目の概要を同一にし、それぞれの大学で当該科目を開設する科目。 「備考」欄の「山大集中」は、山口大学の授業だけが集中講義となる科目。 「備考」欄の「鹿大集中」は、鹿児島大学の授業だけが集中講義となる科目。 「備考」欄の「山大メディア」は、山口大学ではメディア授業、鹿児島大学では対面授業を行う科目。 「備考」欄の「鹿大メディア」は、鹿児島大学ではメディア授業、山口大学では対面授業を行う科目。 「備考」欄の「一部メディア」は、各大学において対面授業を開講する科目において、講義の一部を他方の大学が開講している内容をメディア授業により、受講する科目。 「備考」欄の「山大オムニバス」は、山口大学だけがオムニバス方式の授業を行う科目。 「備考」欄の「鹿大オムニバス」は、鹿児島大学だけがオムニバス方式の授業を行う科目。 「備考」欄の「両大オムニバス」は、両大学の教員が1つの科目を分担し、オムニバス方式の授業を行う科目。 																	

I. 設置の趣旨・必要性

山口大学及び鹿児島大学の共同獣医学部は、現有の教育資源・人材・設備を共用した獣医学教育カリキュラムを構築するとともに、国際水準の獣医学部教育に進化させるために、相互補完型の教員配置と施設整備を共に戦略的に推進する。「国際水準の獣医学教育のための相互補完による共同教育体制」と「社会ニーズへ機動的に対応できる獣医学教育と研究」の実現を目指し、共同学部化による獣医学教育改革の推進を図る。

【歴史的背景から見た必要性】

1. 獣医学教育改革第一期（昭和46年から平成2年）
昭和58年、学校教育法が一部改正され、獣医学の修業年限が「学部一貫6年制」となった。また同年、文部省「獣医学教育の改善に関する調査研究会議」が、学部6年制教育の在り方について「原則として学科を独立の学部として教育を行うことが望ましい」、「学部移行するとすれば、国立10大学の再編整備が必要」との見解を示した。
2. 獣医学教育改革第二期（平成9年から平成20年）
平成12年、日本学術会議獣医学研究連絡委員会において、獣医学教育について以下の抜本的改革が提言された。
 - 1) 社会的な実務教育の要請並びに国際的獣医学教育の統一に対応するために、獣医学の教育・研究は獣医学部で行い、学術的に高度で実務能力の高い動物医学教育とすべきである。
 - 2) 文部省はこれについて再検討を行い、国立獣医系大学においては獣医学科の統合再編整備又は自助努力等によって、十分な教育資源を備えた獣医学部を構築し、現状では極めて不十分である臨床・応用獣医学関連の実務教育を行うための施設・設備並びに教員の充足を図り、動物医学教育の実を挙げるよう取り組む必要がある。
3. 獣医学教育改革第三期（平成21年から現在）
平成21年、文部科学省により「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」が設けられた。平成23年には、「今後の獣医学教育改善・充実方策について」意見の取りまとめ（素案）が示され、獣医学教育改善の具体策として、共同学部・学科の設置など大学間連携の促進や教育体制充実の必要性が記載された。また、山口大学及び鹿児島大学の共同獣医学部の取組が評価されるとともに、他の大学においても共同学部の設置に向けた取組が期待されている。

【獣医学教育を取り巻く世界情勢から見た必要性】

1. 欧米諸国の獣医学部教育は、幅広く専門性の高い講義に加え、臨床獣医学及び応用獣医学の実務教育の充実化を図り、実社会で直ちに役立つ獣医師を養成するための教育体制となっている。
2. 国際社会に対する貢献とリーダーシップの発揮には、アジアの獣医学拠点大学となりうる教育課程を構築する必要がある。そのためには、獣医学教育を国際標準化し、国際的評価システムによる教育評価（アクレディテーションの取得）を受けなければならない。
3. アクレディテーションの取得を目指すためには、高度化したカリキュラムを実施する専任教員と教育設備の相互補完を、共に戦略的かつ迅速に推進できる学部化が必至である。

【教育・研究上のメリット】

1. 獣医学部として基本理念と教育理念の一体性を確保することにより、共通教育課程から専門教育課程を通じて、獣医学を学ぶ学生に対して一貫性を持った人材養成が可能となる。
2. 両大学の教育体制の一体化を推進し、人材・施設・設備の相互補完を実現することで、欧米獣医学教育のアクレディテーションに対応した教育実施のための新たな獣医学教育体制の構築を推進できる。
3. 獣医学に求められる教育研究の責務を果たすために、教育理念に即し、かつ社会ニーズに対応した人材配置と施設整備の計画立案を、機動性と柔軟性を持って実施できるようになる。
4. 両大学における教育・研究の国際競争力の強化、あるいは両大学が位置する地域へのより一層の学術貢献を念頭に、設備や人材を獣医学部として戦略的に集中投資して、教育・研究分野のさらなる重点化を推進させることができる。

II. 教育課程編成の考え方・特色**【基本理念】**

生命科学の中核をなす動物生命科学研究を推進し、人類と動物との共生環境社会を科学的に考究し、動物生命倫理を通じて命の尊厳を学び、豊かな人間地球社会の創生に貢献する。

【教育の理念】

国際水準の獣医学教育を体系的に創出・実践するとともに、学際協力により深い知識と高度な技術を備えた専門性の高い獣医師を養成する。幅広い見識と倫理観を持って人間社会の質的向上に貢献できる能力を培い、問題解決能力と自己資質を向上させる能力を涵養することで、地域に根ざすとともに社会ニーズに対応した、人間地球社会を俯瞰できる人材を輩出する。

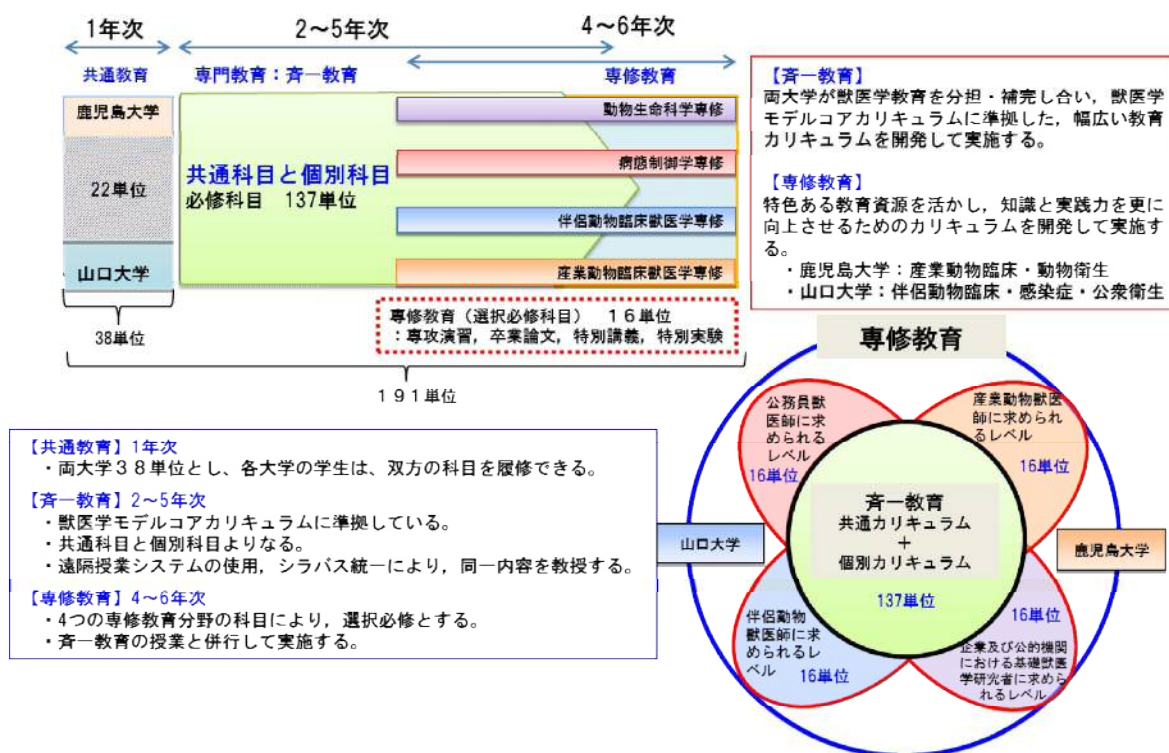
【教育課程編成の考え方】

1. 共同獣医学部における教育課程は、幅広い教養、豊かな人間性と倫理観を備え、より専門性の高い実践的な獣医師を養成するために、共通教育課程と専門教育課程をいずれも共同で行う。
2. 両大学の立地環境と地域性に特徴的な教育資源を共有・活用した教育を行う。山口大学では伴侶動物獣医学及び感染症学に関係した特長ある教育プログラムを、鹿児島大学では産業動物獣医学及び動物衛生学を相互提供して、教育内容の質の改善と幅の拡大を図る。

【教育課程編成の特色】

1. 共通教育課程は同一の到達目標に従うとともに、各教育科目の履修要件を一致させている。
 - 1) 一般教養教育科目は、大学人としての基礎知識、考察力、人間性を涵養する学問分野として、両大学間でおおよその開設科目を一致させながら、各大学の特色ある教養教育も幅広く受講可能な体制を整えている。
 - ①人文・社会科学系科目：人類の歴史とともに変化し、発展してきた思想や文化に触れ、現代社会における現象と課題について考えるための基礎的な知識を習得することを目標として、両大学とも14科目から3科目以上を選択して履修させる。

- ②自然科学系科目：自然現象と科学技術に関する内容とし、両大学とも13科目から3科目以上を履修させ、自然科学の中における生命科学及び応用生物学の学問分野としての獣医学が、他分野とのつながりを求めながら科学技術の発展に寄与する意識の涵養に役立てる。
- ③総合教養系科目：人間の生き方の基本となる人間性、社会性、倫理観を育み、自らの人生と将来像を具体化できるように、両大学とも5科目から1科目以上を履修させる。
- ④体育・健康科目：体育・健康科目は、健康で文化的な生活を営むために必要な基礎的知識と方法を習得し、自らの生活の質を高めることを目標とする。
- 2) 初期教育科目、外国語科目及び基礎教育科目は、日本語や外国語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、情報及び情報手段を主体的に選択して、課題に対する自らの見解をわかりやすく伝達するための方法を知り、実践する能力を付与することを目標とする。統一シラバスとなっており、同一の教員によるインターネット専用回線（SINET4 VPN）を通じて行うリアルタイム双方向性遠隔講義・実習システム（以下、「遠隔授業システム」という。）を用いた遠隔講義や集中講義、並びに大学別に異なる教員による対面授業を行う。
- ①初期教育科目（導入教育系）：人と動物の生命を預かる獣医師として必要な生命に対する倫理観、動物と関わる上で必然的に求められる飼い主及び消費者等の人とコミュニケーション力は獣医学教育の根幹であるために、必須の科目となっており、両大学において同一の教員が集中講義を行う。
- ②初期教育科目（情報科学系）：情報化社会でのコンピュータやネットワークの利用規範と活用法については遠隔授業システムを使って実施し、情報機器の活用法についてはシラバスを統一して実施する。
- ③外国語科目：学習効果を担保するために少人数のクラス編成とし、統一シラバスを用いて、両大学で別々の講師が授業を担当する。
- ④基礎教育科目：講義は遠隔授業システムを用いて一人の教員が同一講義を相手大学へ配信して行う一方で、実験はシラバス内容を一致させて両大学で別々の教員が担当する。



2. 専門教育課程は、獣医学教育に必須とされる基本的内容からなる齊一教育科目と、獣医師としての知識と技能を更に向上させるための専修教育科目から構成されている。

1) 齊一教育科目では、「獣医学モデル・コア・カリキュラム」のすべてを実施するとともに、その科目名も可能な限り一致させた統一シラバスを作成し、全てを必修単位としている。遠隔講義と集中講義を数多く織り混ぜて、両大学で同一の時間割に従って授業を行う。一方、実習はその効果を担保するために可能な限り対面式とする。

- ①導入科目：1年次には、「獣医学概論」等を通じて獣医学教育の全体像及び獣医師の社会的役割を理解する。3年次には、学生は獣医学の職域を改めて理解し、自身の将来設計を考えることで、4年次から履修する専修教育科目の選択に役立てるとともに、獣医学における職の偏在解消も目的として、「獣医キャリア形成論」を開講する。
- ②基礎獣医系科目：「獣医解剖学」、「獣医生理学」、「獣医薬理学」等では、より幅広く、かつ専門性の高い講義を提供する。「獣医発生学」のように一方の大学にのみ担当できる専任教員がいる科目では、遠隔授業システムを使って、一人の教員が両大学の学生に等しく講義を行い、相手大学の教育内容を補完する。「獣医組織学実習」、「獣医生理学実習」、「獣医薬理学実習」の一部では、遠隔授業システムを用いた実習を行う。
- ③応用獣医系科目：「家禽疾病学」や「動物衛生学」のように一方の大学にのみ担当できる専任教員がいる科目では、遠隔授業システムの利用、又は教員移動による集中講義で、一人の教員が両大学の学生に等しく講義を提供する。「獣医病理学実習」では、インターネットを活用し、組織標本データを大学間のネットワークで共有しながら、相手大学の学生にも遠隔実習を行う。「動物感染症総合実習」は、5年次に学生を山口大学へ全て移動させて、集中実習を行う。
- ④臨床獣医系科目：伴侶動物臨床獣医系科目では臓器別に、産業動物臨床獣医系科目では動物種別にシラバスを再編成して、両大学の専任教員が分担する。「伴侶動物診断治療学実習B」、「産業動物診断治療学実習I」及び「獣医繁殖学実習」の一部では、遠隔授業システムを活用して教材となる実習動物の映像を大学間のネットワークで共有しながら、両大学の教員が各実習室において対面式の実習を同時に進行し、映像を共有して指導する実習を行う。「産業動物診断治療学実習II」は、5年次の学生を鹿兒島大学へ全て移動させて、集中実習を行う。

- 2) 齊一教育科目における履修順序の考え方は、以下のようになっている。
- ① 獣医学が対象とする動物の構造と機能に関する基礎獣医系科目（獣医解剖学，獣医生理学等）を3～6期（2年前期～3年後期）に履修する。
 - ② 病原体並びに病態基礎に関わる応用獣医系科目（獣医微生物学，獣医病理学等）の履修を4～6期（2年後期～3年後期）に行う。
 - ③ 動物体と病原体に関する基本的知識を習得した上で，応用獣医系における動物疾病の診断予防に関する科目（動物感染症学，人獣共通感染症学等）と，動物疾病の診断治療学に係わる臨床獣医系科目（臨床獣医学総論，獣医麻酔学等）を併行しながら7～9期（4年前期～5年前期）に履修させる。
 - ④ 齊一教育で行われる臨床獣医系科目の参加型実習では，学内外施設における疾患動物を利用することから，履修する学生の質を担保するために，他の齊一教育科目をすべて修了した10期（5年後期）以降に履修させる。
- 3) 専修教育科目は，獣医師としての将来の就業を考慮して選択・履修するアドバンス科目である。両大学の特色ある教育資源や連携先を利用した教育内容を集めた4つの専修がある。
- ① 動物生命科学専修：大学院への進学や企業等での研究者の養成を目指す。基礎獣医学を背景とした動物生命科学研究を実践するための探究心と問題解決能力を高める。そのため，獣医解剖学，獣医組織学，獣医生理学，生化学，獣医薬理学等について，より専門的な講義と演習を履修させる。
 - ② 病態制御学専修：家畜防疫員等，公務員獣医師として活躍する獣医師の養成を目指す。感染症とその脅威を理解し，制圧のための基礎知識と技術を習得する。そのため，獣医微生物学，獣医病理学，動物衛生学，獣医公衆衛生学，人獣共通感染症学等について，より専門的な講義と演習を履修させる。
 - ③ 伴侶動物臨床獣医学専修：伴侶動物の高度獣医療に従事する獣医師の養成を目指す。高度な獣医療を適切に実践する知識と技術を習得する。そのため，獣医臨床病理学，獣医画像診断学，獣医麻酔学，獣医手術学等について，より専門的な講義と演習を履修させる。
 - ④ 産業動物臨床獣医学専修：牛，馬，豚等の産業動物を対象とした獣医療に従事する獣医師の養成を目指す。畜産資源の安定供給と安全性確保に関する基礎知識と技術を習得する。そのため，獣医繁殖学，牛診療学，馬診療学，豚診療学等について，より専門的な講義と演習を履修させる。
- 4) 専修教育科目は，齊一教育で得た獣医師として必要な知識と技能に更に磨きをかけるために，各専修に特長的な教育内容の専攻演習，卒業論文，特別講義，特別実験を4年次から受講させる。
- ① 専攻演習では，欧文学術論文の誦読や，実験，調査，症例等の各種テーマについての報告や討論をゼミナール形式で行う。
 - ② 卒業論文は，研究主題に従って，実験及び調査の立案と実施，並びに結果の解析と考察を行い，卒業論文完成までの全過程を判定する。
 - ③ 特別講義は，「動物生命科学特別講義A・B」，「病態制御学特別講義A・B」，「伴侶動物臨床獣医学特別講義A・B」，「産業動物臨床獣医学特別講義A・B」のように，両大学から4科目4単位ずつ（1科目1単位，計8科目8単位，A・Bはそれぞれ山口大学・鹿児島大学が担当）開講される。これらの中から，学生は少なくとも4科目を選択必修科目として受講しなければならない。
 - ④ 特別実験では，卒業論文作成とは別に各専修教育分野で教授される実験，調査，臨床技術を履修させる。

【教育方法の特色】

1. 共通教育課程における初期教育，外国語及び基礎教育科目と，専門教育課程の齊一教育では，共同獣医学部に所属する学生全員が，シラバス内容が同一の共通科目と個別科目を等しく履修する。
2. 共通科目は，同じ教員が両大学の学生に同じ内容の授業を行うものであり，学生又は教員が移動して行う対面授業と，遠隔授業システムを使用したメディア授業で行う。
 - 1) 対面授業
 - ① 共通教育課程では，初期教育科目の「生命倫理学」及び「コミュニケーション論」は，同じ教員が両方の大学において集中講義形式で対面式の講義を行う。
 - ② 専門教育課程の齊一教育科目では，両大学の教員による「獣医学概論」，どちらかの大学教員による「動物感染症総合実習」と「産業動物診断治療学実習Ⅱ」はいずれも共通科目であり，学生が開講される大学に移動し，短期滞在して履修する。
 - ③ 専門教育課程の専修教育科目では，専攻演習，卒業論文，特別実験は，すべて対面式で授業が行われる。
 - 2) メディア授業
 - ① インターネットを利用した遠隔授業システムは，共通科目を行うための主要な教育方法となっている。
 - ② 共通教育課程では講義5科目（9単位）において，このシステムを利用する。専門教育課程・齊一教育科目では講義62科目及び実習10科目の計72科目（91単位）において，このシステムを利用する。また，専門教育課程・専修教育科目における特別講義では，両大学に受講者がいる場合は，このシステムを利用する。
 - ③ 遠隔授業システムを利用した授業は，送信側の学生にとっては対面授業となり，受信側にとってのみメディア授業となる。単位数を両大学で積上げていくと，山口大学では合計49科目（60単位）及び鹿児島大学では合計45科目（57単位）がメディア授業となる。
 - ④ 共通教育課程においては5科目（9単位）のうち，山口大学では受信分の2科目（4単位）が，鹿児島大学では受信分の3科目（5単位）がメディア授業となっている。
 - ⑤ 齊一教育科目においては72科目（91単位）のうち，山口大学では受信分の44科目（53単位）が，鹿児島大学では受信分の39科目（49単位）がメディア授業となっている。

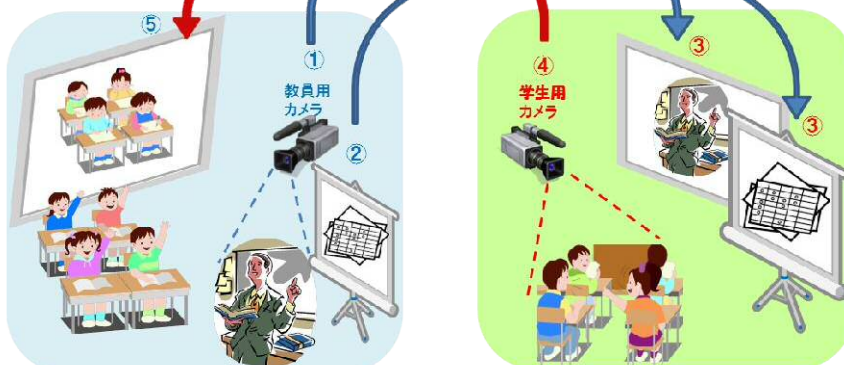
新たな取り組みとして、「獣医組織学実習」及び「獣医病理学実習」では、コンピューターによる「バーチャル顕微鏡」と「スライド取り込み装置」を使った実習を行う。この実習では、両大学に保管される組織標本をスライドデジタル化装置で画像データとしてファイルサーバーへ取り込み、このデータファイルを利用する。両大学の学生はコンピューター端末からファイルサーバーにアクセスして組織データを観察（鏡検）し、指導教員は同じ画像データを共有することにより、実際のディスカッション顕微鏡を見ているときと同様の実習指導を行うことができる。この実習により、学生の組織標本の鏡検能力を評価するだけでなく、診断力を高めることができる。

また、「獣医薬理学実習」においては、薬の体内動態をシミュレーションするプログラム、消化管の薬物反応をシミュレーションするプログラムなどを利用して、送信側教員の指導の下に遠隔実習を行う。「獣医生理学実習」の一部では、重量感覚と振動錯覚や神経学的検査等のシミュレーションプログラムを遠隔操作して実習を行う。いずれも、動物を犠牲にすることのない非観血的実習である。

⑥専修教育特別講義科目においては、4科目（4単位）のうち、1単位の対面授業及び1単位のメディア授業が必須である。残り2単位についてはいずれの授業方式での受講も可能であるため、最大3単位のメディア授業となる場合がある。

1組の遠隔授業システム(両大学1基ずつ)の概要

授業 送信側大学 授業 受信側大学



送信側大学では、通常通りの対面式の授業が実施されている。

① 送信側大学の教員の映像等は、教員用カメラ等で撮影されて、受信側大学にリアルタイム送信される。

② 授業で使用するスライド資料等も、教員用パソコンから、受信側大学にリアルタイム送信される。

⑤ 送信側大学の学生の後方に設置されたディスプレイに、受信側大学の学生の様子が映し出される。送信側大学の教員は、対面している学生に加え、受信側大学の学生の状況も確認しながら、授業を進める。

受信側大学では、遠隔授業システムを使用したメディア授業が実施されている。

③ 受信側大学の学生の前方に設置されたディスプレイ及びスクリーンに、送信側大学の教員及びスライド資料等の映像等が映し出される。受信側大学の学生は、映像等による授業を受講する。

④ 受信側大学の学生の映像等は、学生用カメラ等で撮影されて、送信側大学にリアルタイム送信される。

遠隔授業システムを利用する授業の合計80科目(103単位)のうち、

【山口大学】対面式の授業:31科目(43単位)、メディア授業:49科目(60単位)

【鹿児島大学】対面式の授業:35科目(46単位)、メディア授業:45科目(57単位)となる。

3. 個別科目は両大学で異なる教員が開講するが、シラバスを統一している。

卒業要件及び履修方法	開設大学	開設単位数(必修)	授業期間等	
			1学年の学期区分	2学期
【卒業要件及び履修方法】 1. 卒業要件単位は、合計191単位以上とする。 2. 共通教育科目と基礎教育科目の合計は、38単位以上とし、内訳は以下のとおりとする。 ①一般教養教育科目 14単位以上 人文・社会科学系 6単位以上 自然科学系 6単位以上 総合教養系 2単位以上 ②体育・健康科目 2単位 (講義1単位, 実習1単位) ③初期教育科目 4単位 (導入教育系2単位, 情報科学系2単位) ④外国語科目 8単位 ⑤基礎教育科目 10単位 3. 専門教育科目は、153単位以上とする。 ①導入科目 7単位 ②基礎獣医系科目 38単位 ③応用獣医系科目 48単位 ④臨床獣医系科目 44単位 ⑤専修教育科目 16単位以上 (専攻演習4単位, 卒業論文6単位, 特別実験2単位, 特別講義4単位以上)	山口大学	195 (119)	1学期の授業期間	15週
	鹿児島大学	199 (123)	1時限の授業時間	90分

<p>4. 共通教育科目（指定科目以外），他学部専門教育科目及び他大学等単位互換科目は，卒業要件に含まない自由科目として履修できる。</p> <p>【進級要件】</p> <p>1. 次の①,②を満たさない者は，5期に進めない。</p> <p>①上記の【卒業要件及び履修方法】の2を，全て満たしていること。</p> <p>②専門教育科目の2年終了時までの修得単位（導入科目2単位，基礎獣医系科目28単位，応用獣医系科目2単位，臨床獣医系科目1単位，合計33単位）のうち，27単位以上を修得していること。</p> <p>2. 次の③を満たさない者は，9期に進めない。</p> <p>③専門教育科目の4年終了時までの修得単位（導入科目4単位，基礎獣医系科目38単位，応用獣医系科目42単位，臨床獣医系科目26単位，計110単位）のうち，104単位以上を修得していること。</p> <p>【履修科目の単位数の上限】</p> <p>年間50単位 ※集中講義及び再履修を除く。</p>			
--	--	--	--

教育課程等の概要(事前伺い)

(山口大学共同獣医学部獣医学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	漢文	1後		2		○									兼1	
	文化人類学	1前・後		2		○									兼1	
	日本文学	1前・後		2		○									兼1	
	哲学	1前・後		2		○									兼1	
	日本史	1前・後		2		○									兼1	
	西洋史	1前・後		2		○									兼1	
	宗教学	1前・後		2		○									兼1	
	東洋史	1前・後		2		○									兼1	
	政治学	1前・後		2		○									兼1	
	発達心理学	1後		2		○									兼1	
	心理学	1前・後		2		○									兼1	
	社会学	1前・後		2		○									兼1	
	経済学	1前・後		2		○									兼1	
	意思決定と業績評価	1後		2		○									兼1	
小計(14科目)	—	0	28	0	—			0	0	0	0	0	0	兼14	山大教員のみ	
一般教養教育科目(自然科学系)	火山と地震	1前		2		○								兼1		
	科学の中の動物	1前		2		○			2	1		2		兼1	オムニバス	
	数学I	1後		2		○								兼1		
	現代化学総説	1前・後		2		○								兼1		
	生命を科学する	1後		2		○								兼1		
	現代物理学総説	1前		2		○								兼1		
	暮らしの中の動物	1後		2		○			4					兼1	オムニバス	
	環境学	1後		2		○								兼1		
	生命科学概論	1前・後		2		○			2					兼1	オムニバス	
	環境と植物	1前		2		○								兼1		
	宇宙と人間	1後		2		○								兼1		
環境とバイオテクノロジー	1前		2		○								兼1			
人間とバイオテクノロジー	1後		2		○								兼1			
小計(13科目)	—	0	26	0	—			8	1	0	2	0	兼11	山大教員のみ		
(総合教養教育科目)	知の広場—人と学問—	1前・後		2		○								兼1		
	キャリアデザイン	1後		2		○								兼1		
	国際交流論	1前		2		○								兼1		
	ベンチャービジネス論	1前		2		○								兼1		
	ボランティアと自主活動	1後		2		○								兼1		
小計(5科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	兼4	山大教員のみ		
体育・健康	運動健康科学	1後	1			○								兼1		
	スポーツ運動実習	1前・後	1					○						兼1		
小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0	兼2	山大教員のみ		
初期教育科目	生命倫理学	1前	1			○								兼1	集中	
	コミュニケーション論	1前	1			○								兼1	集中	
	情報セキュリティ・モラル	1前	1			○								兼1		
	情報リテラシー演習	1前	1			○								兼1	※演習	
小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼4	山大教員のみ		
外国語科	英語I	1通	4			○								兼1		
	英語II	2通	4			○								兼1		
小計(2科目)	—	8	0	0	—			0	0	0	0	0	兼2	山大教員のみ		
基礎教育科目	基礎生物学	1前	2			○			1					兼1		
	基礎化学	1前	2			○								兼1		
	分子生物学	1後	2			○								兼1	メディア オムニバス	
	生物統計学	1後	2			○								兼1	メディア オムニバス	
	生物学実験	1後	2					○	4	3		1		兼1	オムニバス	
小計(5科目)	—	10	0	0	—			5	3	0	1	0	兼1	山大教員のみ		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	齊一教育科目(導入科目)	獣医学概論A	1前	1			○			4	2				兼1	集中 オムニバス
		獣医学概論B	1前	1			○								鹿大7	集中 オムニバス
		獣医キャリア形成論	3後	2			○			1					兼12	オムニバス
		獣医倫理学	5前	1			○								兼1	集中
		獣医法規	5後	2			○								鹿大2	集中 メディア オムニバス
	小計(5科目)	—	7	0	0	—	—	—	4	2	0	0	0	兼14	山大教員のみ	
	齊一教育科目(基礎獣医系科目)	獣医解剖学A	2前	1			○								鹿大1	メディア
		獣医解剖学B	2前	1			○			1						
		獣医解剖学C	2後	1			○								鹿大1	メディア
		獣医解剖学D	2後	1			○			1						
		獣医組織学A	2前	1			○				1					
		獣医組織学B	2前	1			○					1			鹿大1	メディア
		獣医組織学C	2後	1			○					1				
		獣医組織学D	2後	1			○								鹿大1	メディア
		獣医生理学A	2前	2			○			1	1					オムニバス
		獣医生理学B	2後	2			○								鹿大3	メディア オムニバス
生化学Ⅰ		2前	2			○			1							
生化学Ⅱ		2後	2			○								鹿大2	メディア オムニバス	
動物遺伝学		2後	2			○								兼1		
動物行動学		2後	2			○								鹿大2	メディア オムニバス	
獣医発生学		3前	2			○					1					
獣医薬理学A		3前	1			○			1		1					
獣医薬理学B		3前	1			○										
獣医薬理学C		3後	1			○								鹿大2	メディア オムニバス	
獣医薬理学D		3後	1			○								鹿大3	メディア オムニバス	
免疫学Ⅰ		2後	1			○								鹿大1	メディア	
免疫学Ⅱ		2後	1			○			1							
実験動物学A		3前	1			○								鹿大3	メディア オムニバス	
実験動物学B		3前	1			○								兼1		
獣医解剖学実習A		2前	1					○	1	1						
獣医解剖学実習B	2後	1					○	1	1							
獣医組織学実習A	2前	1					○	1	1				鹿大2	一部メディア オムニバス		
獣医組織学実習B	2後	1					○	1	1				鹿大2	一部メディア オムニバス		
獣医生理学実習	2後	1					○	1	1				鹿大2	一部メディア オムニバス		
生化学実習	2後	1					○	1								
獣医薬理学実習	3後	1					○	1	1				鹿大2	一部メディア オムニバス		
実験動物学実習	3前	1					○						兼1			
小計(31科目)	—	38	0	0	—	—	—	5	4	0	0	0	兼2	山大教員のみ		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	齊一教育科目 (応用獣医系科目)	獣医微生物学Ⅰ	2後	2			○			1	1					
		獣医微生物学ⅡA	3前	2			○			1	1					
		獣医微生物学ⅡB	3後	2			○			1	1					
		獣医病理学A	3前	2			○			1						
		獣医病理学B	3前	2			○								鹿大1	メディア
		獣医病理学C	3後	2			○								鹿大1	メディア
		獣医病理学D	3後	2			○			1						
		家禽疾病学	5前	2			○								鹿大1	集中
		魚病学	4前	2			○								鹿大1	メディア
		毒性学A	4前	1			○			1						
		毒性学B	4前	1			○								鹿大4	メディア オムニバス
		動物衛生学	4前	2			○			1						
		動物感染症学A	4後	2			○								鹿大2	メディア オムニバス
		動物感染症学B	5前	2			○					1				
		寄生虫学Ⅰ	3前	2			○			1						
		寄生虫学Ⅱ	3後	2			○			1						
		獣医公衆衛生学	4前	1			○					1				
		食品衛生学	4後	2			○								兼1	
		環境衛生学	4前	2			○					1				
		人獣共通感染症学Ⅰ	4前	1			○			1		2				オムニバス
		人獣共通感染症学Ⅱ	4前	1			○								鹿大1	メディア
		獣医疫学	4後	1			○								鹿大1	メディア
		獣医微生物学実習A	3前	1					○	1	1					
		獣医微生物学実習B	3後	1					○		1					
		獣医病理学実習Ⅰ	3後	1					○					1	鹿大1	一部メディア オムニバス
		獣医病理学実習Ⅱ	4前	1					○					1		
		寄生虫学実習	3後	1					○	1						
		獣医公衆衛生学実習Ⅰ	4後	1					○		1					
		獣医公衆衛生学実習Ⅱ	5前	1					○		1					
		毒性学実習	4前	1					○	1	1				鹿大2	一部メディア オムニバス
		動物衛生学実習	4前	1					○	1						
		動物感染症総合実習	5前	1					○	2	2				兼1	集中 オムニバス
小計 (32科目)		—	48	0	0	—			6	4	0	1	0	兼1	山大教員のみ	
齊一教育科目 (臨床獣医系科目)	獣医臨床栄養学	2前	1			○				1						
	臨床獣医学総論	3後	1			○								鹿大2	メディア オムニバス	
	獣医放射線学	3後	1			○			1							
	獣医臨床病理学Ⅰ	4前	1			○								鹿大1	メディア	
	獣医臨床病理学Ⅱ	4前	1			○				1					オムニバス	
	獣医麻酔学	4前	1			○				2		1			オムニバス	
	獣医手術学	4前	1			○			2	2					オムニバス	
	獣医画像診断学Ⅰ	4前	1			○								鹿大2	メディア オムニバス	
	獣医画像診断学Ⅱ	4前	1			○			2	2		2			オムニバス	
	獣医繁殖学	4後	2			○			1						オムニバス	
	獣医皮膚病学	4後	1			○			1			1			オムニバス	
	獣医消化器病学A	4後	1			○								鹿大1	メディア	
	獣医消化器病学B	4後	1			○			2	2		2			オムニバス	
	獣医腎泌尿器病学	4後	1			○			1					鹿大1	一部メディア オムニバス	
	獣医内分泌・代謝病学	4後	1			○								鹿大3	メディア オムニバス	
	獣医臨床感染症学	4後	1			○						1		鹿大1	一部メディア オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目 齊一教育科目 (臨床獣医系科目)	獣医呼吸器・循環器病学	4前	2			○									鹿大2	メディア オムニバス	
	獣医神経・感覚器病学	5前	2			○			1	2						オムニバス	
	臨床動物行動学	5前	1			○									鹿大1	集中 メディア	
	獣医血液病学	5前	1			○			1			1				オムニバス	
	獣医運動器病学	5前	1			○				1					鹿大1	一部メディア	
	獣医臨床腫瘍学	5前	1			○			1	1					鹿大1	一部メディア	
	野生動物医学	5前	1			○									鹿大2	メディア オムニバス	
	牛診療学Ⅰ	4後	1			○									鹿大1	メディア	
	牛診療学Ⅱ	5前	1			○									鹿大1	メディア	
	牛診療学Ⅲ	5前	1			○			1								
	馬診療学	5前	1			○									鹿大1	メディア	
	豚診療学	5前	1			○									鹿大1	メディア	
	獣医予防管理学	4後	2			○					1						
	獣医臨床基礎実習	4前	1					○	4	1			1			オムニバス	
	伴侶動物診断治療学実習A	4後	1					○	3	2			1			オムニバス	
	伴侶動物診断治療学実習B	5前	1					○	1	3					鹿大2	一部メディア オムニバス	
	伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅰ	4後	1					○	1	2						オムニバス	
	伴侶動物麻酔・手術学実習Ⅱ	5前	1					○	1	2						オムニバス	
	産業動物診断治療学実習Ⅰ	4後	1					○	2	1					鹿大1	一部メディア オムニバス	
	産業動物診断治療学実習Ⅱ	5前	1					○							鹿大3	集中 オムニバス	
	獣医繁殖学実習	5前	1					○	1						鹿大1	一部メディア オムニバス	
	伴侶動物総合臨床実習	5後	2					○	4	4			2			集中	
	産業動物総合臨床実習	5後	1					○	2	1					兼1	集中	
	小計(39科目)	—	44	0	0	—	—	—	5	5	0	2	0	兼1	山大教員のみ		
	専修教育科目	専攻演習	4～5通	4				○		14	12		3				
		卒業論文	5～6通	6				○		14	12						
		動物生命科学特別実験	6前		2				○	4	4						
病態制御学特別実験		6前		2				○	5	3		1					
伴侶動物臨床獣医学特別実験		6前		2				○	4	4		2					
産業動物臨床獣医学特別実験		6前		2				○	2	1							
動物生命科学特別講義A		6前		1		○			4	4						オムニバス	
動物生命科学特別講義B		6前		1		○									鹿大9	メディア オムニバス	
病態制御学特別講義A		6前		1		○			5	3						オムニバス	
病態制御学特別講義B		6前		1		○									鹿大8	メディア オムニバス	
伴侶動物臨床獣医学特別講義A		6後		1		○			4	3		1				オムニバス	
伴侶動物臨床獣医学特別講義B		6後		1		○									鹿大7	メディア オムニバス	
産業動物臨床獣医学特別講義A		6後		1		○			2	1						オムニバス	
産業動物臨床獣医学特別講義B		6後		1		○									鹿大8	メディア オムニバス	
小計(14科目)	—	10	16	0	—	—	—	14	12	0	3	0		山大教員のみ			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由科目	共通教育科目（指定科目以外）														
	他学部専門教育科目 他大学等単位互換科目														
	小計（0科目）	—	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	
合計（166科目）		—	171	80	0	—	—	—	14	12	0	3	0	兼54	山大教員のみ
学位又は称号		学士（獣医学）		学位又は学科の分野			獣医学関係								

(注)

- ・「備考」欄の「鹿大○」は、鹿児島大学教員数（兼任教員及び兼任教員含む）である。
- ・「備考」欄の「山大教員のみ」には、兼任教員及び兼任教員を含む。

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
<p>【卒業要件及び履修方法】</p> <p>1. 卒業要件単位は、合計191単位以上とする。</p> <p>2. 共通教育科目と基礎教育科目の合計は、38単位以上とし、内訳は以下のとおりとする。</p> <p>①一般教養教育科目 14単位以上 人文・社会科学系 6単位以上 自然科学系 6単位以上 総合教養系 2単位以上</p> <p>②体育・健康科目 2単位 (講義1単位、実習1単位)</p> <p>③初期教育科目 4単位 (導入教育系2単位、情報科学系2単位)</p> <p>④外国語科目 8単位</p> <p>⑤基礎教育科目 10単位</p> <p>3. 専門教育科目は、153単位以上とする。</p> <p>①導入科目 7単位</p> <p>②基礎獣医系科目 38単位</p> <p>③応用獣医系科目 48単位</p> <p>④臨床獣医系科目 44単位</p> <p>⑤専修教育科目 16単位以上 (専攻演習4単位、卒業論文6単位、特別実験2単位、特別講義4単位以上)</p> <p>4. 共通教育科目（指定科目以外）、他学部専門教育科目及び他大学等単位互換科目は、卒業要件に含まない自由科目として履修できる。</p> <p>【進級要件】</p> <p>1. 次の①、②を満たさない者は、5期に進めない。</p> <p>①上記の【卒業要件及び履修方法】の2を、全て満たしていること。</p> <p>②専門教育科目の2年終了時までの修得単位（導入科目2単位、基礎獣医系科目28単位、応用獣医系科目2単位、臨床獣医系科目1単位、合計33単位）のうち、27単位以上を修得していること。</p> <p>2. 次の③を満たさない者は、9期に進めない。</p> <p>③専門教育科目の4年終了時までの修得単位（導入科目4単位、基礎獣医系科目38単位、応用獣医系科目42単位、臨床獣医系科目26単位、計110単位）のうち、104単位以上を修得していること。</p> <p>【履修科目の単位数の上限】 年間50単位 ※集中講義及び再履修を除く。</p>	1 学年の学期区分	2学期	
		1 学期の授業期間	15週
		1 時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(山口大学農学部獣医学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	基礎セミナー1	1前	2			○									兼1
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0		兼1
	情報リテラシー演習	1前	1				○								兼1
	情報セキュリティ・モラル	1前・後	1			○									兼1
小計(2科目)	—	2	0	0	—			0	0	0	0	0		兼2	
外国語教育	TOEIC準備	1前	1			○									兼1
	Basic English	1前		1		○									兼1
	English Speaking	1後	2			○									兼1
	TOEIC認定400	1前	1			○									兼1
	英語リーディング	1後		2		○									兼1
	英語ライティング	1後		2		○									兼1
	英語特別演習	1後		2			○								兼1
	Comprehensive English	1後		2		○									兼1
	TOEIC認定500(TOEFL450)	1前		2		○									兼1
	TOEIC認定600(TOEFL500)	1前		2		○									兼1
	海外英語研修	1前・後		4		○									兼1
	小計(11科目)	—	4	17	0	—			0	0	0	0	0		兼11
	初習外国語入門1	1前		2		○									兼1
	初習外国語入門2	1後		2		○									兼1
海外初習外国語研修	1前		4		○									兼1	
小計(3科目)	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0		兼3	
一般教養教育	思想と倫理	1前・後		2		○									兼1
	歴史	1前・後		2		○									兼1
	主題(思想と歴史)	1前・後		2		○									兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0		兼3
	文学と言語	1前・後		2		○									兼1
	芸術	1前・後		2		○									兼1
	主題(ことばと芸術)	1後		2		○									兼1
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			0	0	0	0	0		兼3
	人間と社会	1前・後		2		○									兼1
	人間と教育	1前・後		2		○									兼1
	心理学	1前・後		2		○									兼1
	日本国憲法	1前・後		2		○									兼1
	主題(人間と社会)	1前・後		2		○									兼1
	小計(5科目)	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0		兼5
自然科学	1前・後		2		○									兼1	
主題(自然科学)	1前・後		2		○			2	1		2				
小計(2科目)	—	0	4	0	—			2	1	0	2	0		兼1	
統計学	1前・後		2		○									兼1	
環境科学	1前・後		2		○									兼1	
応用科学	1前・後		2		○			2	1						
主題(応用科学)	1前・後		2		○			4							
小計(4科目)	—	0	8	0	—			6	1	0	0	0		兼2	
運動健康科学	1前・後		1		○									兼1	
スポーツ運動実習	1前・後		1				○							兼1	
主題(健康とスポーツ)	1前・後		2		○									兼1	
小計(3科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0		兼3	
総合教養A	1前・後		2		○									兼1	
総合教養B	1前・後		2		○									兼1	
小計(2科目)	—	0	4	0	—			0	0	0	0	0		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育科目	専門基礎教育	数学Ⅰ	1前	2		○										兼1	
		数学Ⅱ	1後	2		○										兼1	
		物理学Ⅰ	1前	2		○										兼1	
		物理学Ⅱ	1後	2		○										兼1	
		化学Ⅰ	1前	2		○										兼1	
		化学Ⅱ	1後	2		○										兼1	
		生物学Ⅰ	1前・後	2		○										兼1	
		生物学Ⅱ	1前・後	2		○										兼1	
		地球科学Ⅰ	1前	2		○										兼1	
		地球科学Ⅱ	1後	2		○										兼1	
		小計(10科目)	—	4	16	0	—			0	0	0	0	0		兼10	
		物理学実験A	1前	2				○								兼1	
		物理学実験B	1後	1				○								兼1	
化学実験A	1前・後	2				○								兼1			
化学実験B	1前・後	1				○								兼1			
生物学実験	1前・後	2				○								兼1			
地球科学実験	1前・後	2				○								兼1			
小計(6科目)	—	2	8	0	—			0	0	0	0	0		兼6			
専門教育科目	基礎獣医学	獣医学概論	1通	4		○			1								
		獣医学発生学	2前	2		○				1							
		獣医学組織学	2通	4		○					1						
		獣医学組織学実習	2後	2				○		1	1						
		獣医学解剖学	2通	4		○				1							
		獣医学解剖学実習	2通	2				○		1	1						
		獣医学生理学	2通	6		○				1	1						
		獣医学生理学実習	3前	2				○		1	1						
		獣医学生化学	2通	4		○				1							
		獣医学生化学実習	3前	1				○		1							
		獣医学薬理学	3通・4前	6		○				1	1						
		毒性学	4後	2		○				1							
		獣医学薬理学・毒性学実習	3後・4前	2				○		1	1						
		獣医学微生物学免疫学総論	2後・3前	4		○				1	1						
		獣医学微生物学免疫学各論	3後・4前	4		○				1	1						
		獣医学微生物学免疫学実習	3後・4前	2				○		1	2						
		獣医学病理学総論	3前	4		○				1							
		獣医学病理学各論	3後・4前	4		○				1							
		獣医学病理学実習	3後・4前	2				○					1				
小計(19科目)	—	61	0	0	—			8	6	0	1	0					
臨床・応用獣医学		獣医学内科学	4通・5前	6		○			2								
		獣医学内科学実習	4後・5前	2				○		2	1		1				
		獣医学寄生虫病学	3後・4前	4		○				1							
		獣医学寄生虫病学実習	4前	1				○		1			1				
		獣医学伝染病学	5通	4		○					1						
		獣医学外科学総論	4前	2		○				1	1						
		獣医学外科学各論	4後・5前	4		○				2	1						
		獣医学外科学実習	4後・5前	2				○		2	2		1				
		獣医学繁殖学Ⅰ	4通	4		○				1							
		獣医学繁殖学Ⅰ実習	4後	1				○		1							
		獣医学繁殖学Ⅱ	5前	2		○				1							
		獣医学繁殖学Ⅱ実習	5前	1				○		1							
		家禽疾病学	5後	2		○										兼1	
		獣医学放射線学Ⅰ	3前	2		○				1							
		獣医学放射線学実習Ⅰ	5後	1				○		2	2		1				
		獣医学放射線学Ⅱ	5前	2		○				2	1						
		獣医学放射線学実習Ⅱ	5後	1				○		2	2		1				
		臨床実習	6前	2				○		6	4		2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	臨床・応用獣医学	獣医衛生学	4通	4			○			1						兼1
		獣医衛生学実習	4後	1				○		1						兼1
		獣医公衆衛生学総論	4前	2			○									兼1
		獣医公衆衛生学各論	4後	2			○									兼1
		獣医公衆衛生学実習	5前	1					○							兼1
		実験動物学	3前	2			○									兼1
		実験動物学実習	3後	1					○							兼1
		魚病学	4後	2			○									兼1
		獣医畜産法規	5後	2			○									兼1
		小計 (27科目)	—	60	0	0	—	—	—	7	5	0	2	0		兼6
関連科目	畜産学概論	2前	2			○										
	家畜飼養学	2前	2			○										
	家畜遺伝学	2後	2			○										兼1
	畜産学実習	2前	1									1				
	牧場実習	3前	1									1				
	生物統計学	3前	2			○			1							
	生物統計学演習	3後	1													兼1
	生物化学	3前	2			○										兼1
	分子生物学概論	2後	2			○										兼1
	専門科学英語	2後	2			○										兼1
	小計 (10科目)	—	17	0	0	—	—	—	1	1	0	0	0		兼5	
合計 (111科目)		—	152	91	0	—	—	—	14	12	0	3	0		兼63	
学位又は称号	学士 (獣医学)		学位又は学科の分野				獣医学関係									